

スパシフィラム属

Spathiphyllum

(*Spathiphyllum* Schott)

I. 審査基準の対象(Subject of these Guidelines)

この基準はサトイモ科 (*Araceae*) のスパシフィラム属(*Spathiphyllum Schott*) のすべての栄養繁殖性品種に適用する。

II. 提出種苗(Material Required)

- i) 種苗の形態 標準的な若い苗
- ii) 提出時期 審査当局の指定する時期
- iii) 数量 30 株
- iv) 提出する苗は、重要な病害虫に汚染されておらず十分に健全なものであること。
- v) 特別な試験 特別な条件下でのみ発現する特性であって、出願者が申告し、方法等が十分に提示され審査当局が合意した場合は前記栽培条件によらず栽培試験を実施することがある。

III. 試験の実施(Conduct of Tests)

- i) 栽培条件 特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。
栽培場所 栽培は 1 か所で行う。その品種にその場所では観察できない形質がある場合、他の場所での試験を追加する。同じ環境である場合のみ、観察する区画と測定する区画を分けて栽培することができる。
栽培は、有機質に富み、肥沃で排水性が良い土壤に植え、温度は最低 15°C とし、夏は強遮光下で行う。
- ii) 最低供試個体数 特性調査時に 20 個体を下回らないこと。
- iii) 栽培期間 1 生育周期とするが、区別性、均一性を評価するために十分でなければ、2 生育周期とする。
- iv) 調査方法 調査は、満開時に、植物体 10 個体又は各個体から採取した部分 10 個について行う。葉身と葉柄の調査は、花序をとりまいている葉について行う。
- v) 特別な試験 特別な条件下でのみ発現する特性であって、出願者が申告し、方法等が十分に提示され審査当局が合意した場合は前記栽培条件によらず栽培試験を実施することがある。

IV. 判定基準

均一性の判定は、登録出願品種審査要領の区別性、均一性及び安定性審査 (DUS) のための一般基準によるものとする。供試個体数が 20 の場合、許容される異型個体数は 1 である。

V. グループ分けに使用する形質(Grouping of Varieties)

- i) 立茎数 (形質 1)
- ii) 仏炎苞の長さ (形質 11)

VI. 特性表で使用する記号の説明(Characteristics and Symbols)

G : グループ分けに使用する形質

(*) : 必須形質

QL : 質的形質

QN : 量的形質

PQ : 擬似の質的形質

(+) : VIII. に特性表の説明図等を示す

VII. 特性表(Table of characteristics)

形質番号	U P O V	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex. Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
1	1 (*)	QN G	立茎数	Plant: number of shoots	株立ちの多少	観察	3 5 7	少 中 多	few medium many	キューピット ニューメリー	
2	2	QN	葉身の長さ	Leaf blade: length	成葉の葉身基部から先端までの長さ	測定 cm	3 5 7	短 中 長	short medium long	ニューメリー センセーション ホワイトキング [®] (9)	
3	3 (*)	QN	葉身の幅	Leaf blade: width	成葉の葉身の最大幅	測定 cm	3 5 7 9	狭 中 広 極広	narrow medium broad very broad	キューピット ニューメリー センセーション ホワイトキング [®]	
4	4	QN	葉身の緑色の濃淡	Leaf blade: green color	成葉表面の緑色の濃淡	観察	3 5 7	淡 中 濃	light medium dark		
5	5	QN	葉脈間のふくれの強弱	Leaf blade: bulging between veins	葉脈間のふくれの強弱	観察	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		
6	6 (*)	QN (+)	葉しょうの長さ	Petiol: length of sheath	葉しょうの長さ	測定 cm	3 5 7	短 中 長	short medium long		
7	7 (*)	QN (+)	葉しょうの上端から葉身までの長さ	Petiol: length from sheath to leaf blade	葉しょうの上端から葉身までの長さ	測定 mm	3 5 7	短 中 長	short medium long		

形質番号	U P O V	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
8	8	QL	葉身の色に対する 葉柄上部の色	Petiol: color of upper part in relation to leaf blade	葉柄上部の色を葉身の色 と比較しての濃淡	観察	1 2	同等 薄い	similar lighter		
9	9 (*)	QN	花柄の長さ	Peduncle: length to base of spathe	仏炎苞基部までの花柄の 長さ	測定 cm	3 5 7	短 中 長	short medium long	ニューメリー センセーション ホワイトキング [®]	
10	10	QN (+)	仏炎苞のゆ合部の 長さ	Spathe: length of fused part	仏炎苞と肉穂花序柄とゆ 合している部分の長さ	測定 mm	3 5 7	短 中 長	short medium long		
11	11 (*)	QN G (+)	仏炎苞の長さ	Spathe: length	開花時の仏炎苞基部から 先端までの長さ	測定 cm	3 5 7 9	短 中 長 極長	short medium long very long	ニューメリー センセーション ホワイトキング [®]	
12	12 (*)	QN (+)	仏炎苞の幅	Spathe: width	開花時の仏炎苞の最大の 幅	測定 cm	3 5 7 9	狭 中 広 極広	narrow medium broad very broad	キュービット ニューメリー センセーション ホワイトキング [®]	
13	13	QN (+)	仏炎苞の深さ	Spathe: depth	開花時の仏炎苞のくぼみ の最大の深さ	測定 mm	3 5 7	浅 中 深	shallow medium deep		
14	14 (*)	PQ (+)	仏炎苞の基部の形	Spathe: predominant shape of base	開花時の仏炎苞の基部の 一般的な形	観察	1 2 3	切形 漸先形 非対称形	truncate attenuate Unequal-sided		

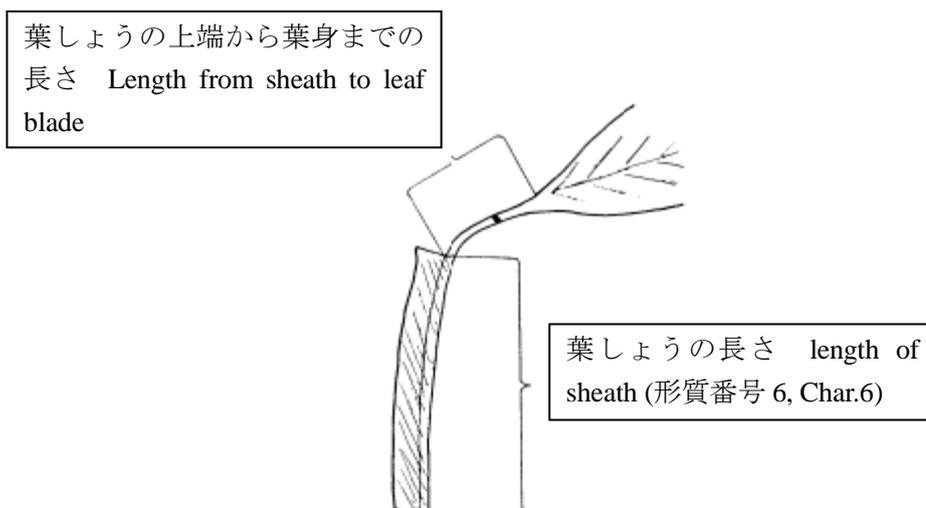
形質番号	U P O V	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
15	15	QN	仏炎苞の内側の先端から下部にかけての緑色部の大きさ	Spathe: area of green color extending from tip on <u>inner</u> side	開花時の仏炎苞の内側（表面）において先端から下に広がっている緑色部の面積の大きさ	観察	1 3 5 7 9	無又は極小 小 中 大 極大	absent or very small small medium large very large		
16	16	QN	仏炎苞の外側の先端から下部にかけての緑色部の大きさ	Spathe: area of green color extending from tip on <u>outer</u> side	開花時の仏炎苞の外側（裏面）において先端から下に広がっている緑色部の面積の大きさ	観察	1 3 5 7 9	無又は極小 小 中 大 極大	absent or very small small medium large very large		
17	17	QN (+)	肉穂花序の花柄の長さ	Spadix: length of stalk	肉穂花序花柄の長さ	測定 cm	3 5 7	短 中 長	short medium long	ニューメリー ホワイトキング*	
18	18 (*)	QN (+)	肉穂花序の長さ	Spadix: length	肉穂花序の基部から先端までの長さ	測定 cm	3 5 7	短 中 長	short medium long	キューピット ニューメリー ホワイトキング*	
19	19	QN (+)	肉穂花序の太さ	Spadix: diameter	肉穂花序の中間部の直径	測定 mm	3 5 7	細 中 太	small medium large	キューピット ニューメリー ホワイトキング*	
20	20	QL (+)	花柄に対する肉穂花序の屈曲	Spadix: attitude of stalk of spadix compared to that of fused part of spathe	肉穂花序の花柄がゆ合部に対してなす角度	観察	1 2	屈曲 直線	not in line in line		
21	21 (*)	QL (+)	子房の先端の形	Ovary: shape of tip	開花時の個々の子房の先端の形状	観察	1 2	尖 丸	pointed round		

形質 番号	U P O V	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex. Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
22	22 (*)	QN	開花期	Time of flowering	開花期の早晩	観察	3 5 7	早 中 晩	early medium late		

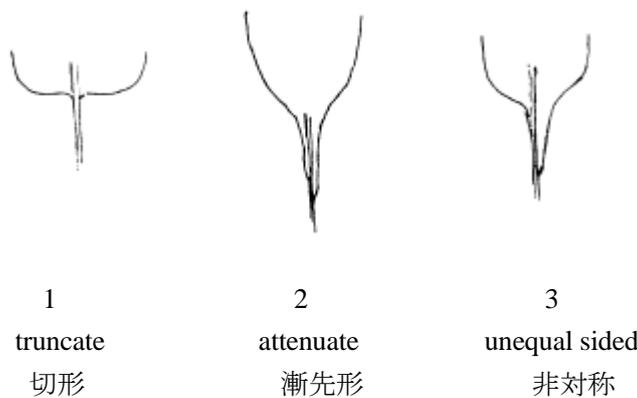
VIII. 特性表の説明(Explanations on the Table of Characteristics)

形質6 葉しよの長さ Char.6 Petiole: length of sheath

形質7 葉しよの上端から葉身までの長さ Char.7 Petiole:length from sheath to leaf blade



形質 14 仏炎苞の基部の形 Char.14 Spathe: predominant shape of base



形質 10-13 及び 17-21 仏炎苞と肉穂花序の形質の定義
 Char.10-21,17-21 Definitions of the spathe and spadix

